魚津都市計画道路の見直し(案)について

令和5年1月

魚津市 産業建設部 都市計画課

- 1. 都市計画道路とは
- 2. なぜ都市計画道路を見直すのか?
- 3. 見直しの進め方
- 4. 都市計画道路の現状・見直し(案)
- 5. 今後のスケジュール

1. 都市計画道路とは 都市計画道路

法律(都市計画法)に基づき、

あらかじめルート・幅員等が決められた、都市の骨格となり、 安全安心な暮らしや機能的な都市活動の確保など、 まちづくいを古える道路のこと

まちづくりを支える道路のこと。

都市の将来像を踏まえて決定される。

都市計画決定の効果

- ●都市計画の位置づけ
- ●事業を担保するための建築制限



1. 都市計画道路とは 都市計画道路の機能

①交通機能

人や物資の移動、道路沿いの店などへの ためのスペース



②空間機能

- 風通しや日当たりがよくなるなど良好な住環境の形成
- 災害時の退避や救助に役立ち、火災の広がりも防ぐ
- ■電気やガス、上下水道などを収納



1. 都市計画道路とは 都市計画道路の機能

③市街地形成機能

- ●道路の囲まれる範囲(街区)により、 まちの大きさや形が決まる
- 様々な土地の利用が図られ、 まちの発展につながる



1. 都市計画道路とは 都市計画道路の種別

①自動車専用道路

もっぱら自動車交通のための道路 例)・北陸自動車道 等



②幹線 街路

都市内におけるまとまった交通を受け持ち 都市の骨格を形成する道路 例)・国道8号 等



1. 都市計画道路とは 都市計画道路の種別

③区 画 街 路

地区における宅地利用のための道路例)地区内周回道路等(通過する交通なし)

④ 特 殊 街 路

自転車や歩行者のための専用道路や路面電車など の交通を目的とした道路 例)歩行者専用道 等



①~④を適切に組合せ、道路の機能が発揮できるように配置

2. なぜ都市計画道路を見直すのか? 見直しにいたる流れ

多くは昭和30~50年代までに都市計画決定され その後全体の見直しが行われていない



人口増加から減少の時代へ

少子高齢化社会の到来

自然環境や 景観への関心 の高まり



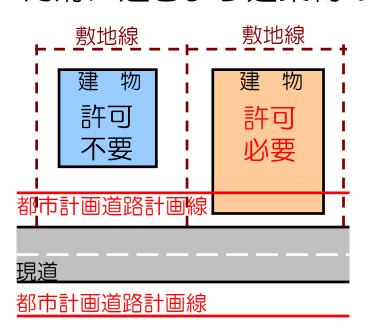
社会状況の変化にともない、都市構造もさまざまな面で変化が求められており、変化に適切に対応する必要があります



将来のまちを見据えた都市計画道路網の見直し

2. なぜ都市計画道路を見直すのか? 都市計画道路内における建築の制限

都市計画道路が定められている区域では、将来的に整備が 円滑に進むよう建築物の建築に際し、許可が必要となる



許可の基準

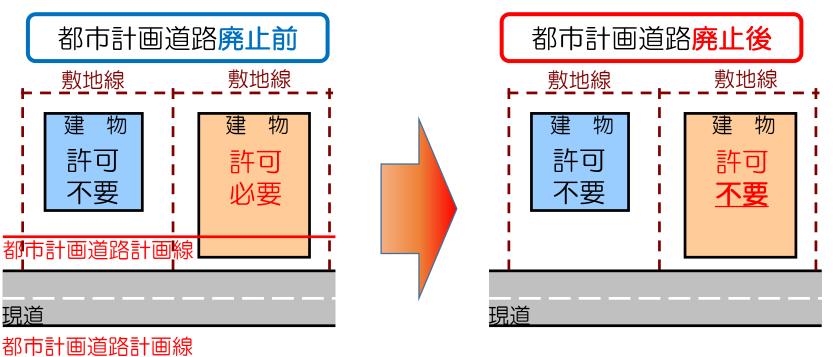
容易に移転、除去することができるもの

- ・ 2階建て以下で地階なし
- 構造が木造、鉄骨造、コンクリート ブロック造など

個人の財産権の一部を制限している状態

2. なぜ都市計画道路を見直すのか? 都市計画道路内における建築の制限

都市計画道路を廃止すると、建築制限がなくなります



- 3階建て以上または地階を有する建物
- 構造が鉄筋コンクリート造の建物の 建築が可能になります

3. 見直しの進め方見直し結果のパターン

①継続 現計画のまま変更なし

②変更現計画の線形や幅員を変更

3 廃止 現計画を廃止

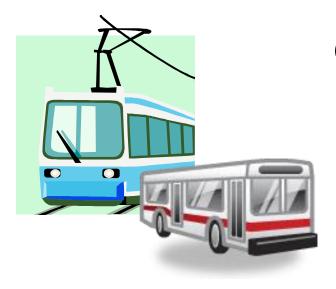
3. 見直しの進め方評価の視点

①必要性の検討

- (1)交通面
 - ●都市と都市を結ぶ
 - ●都市内の道路網の中心的存在(都市軸)
 - ●住宅地の交通を集める



など



(2) まちづくり面

- 駅や公園などの公共施設へアクセス
- イベント空間利用などまちのにぎわい づくり
- ●公共交通の利用をうながす

など

3. 見直しの進め方評価の視点

②代替道路の検討

対象とする都市計画道路と同じ機能を もつ道路がすでに存在している



③実現性の検討

- 歴史的な町並みなどを失う
- 良好なコミュニティ(人のつながり)を低下させる
- ●自然や生活に大きな影響を与える
- 多額の事業費を要する
- 現在の道路規格に合わない

など

3. 見直しの進め方見直しの留意点

①都市マスタープランの実現

都市マスタープランに掲げる 都市の将来のあるべき姿を 実現するための計画に見直す



- 都市計画マスタープランとは?
 - :都市の将来のあるべき姿を具体的に示したもの
- ●都市の将来あるべき姿とは?
 - : 公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり

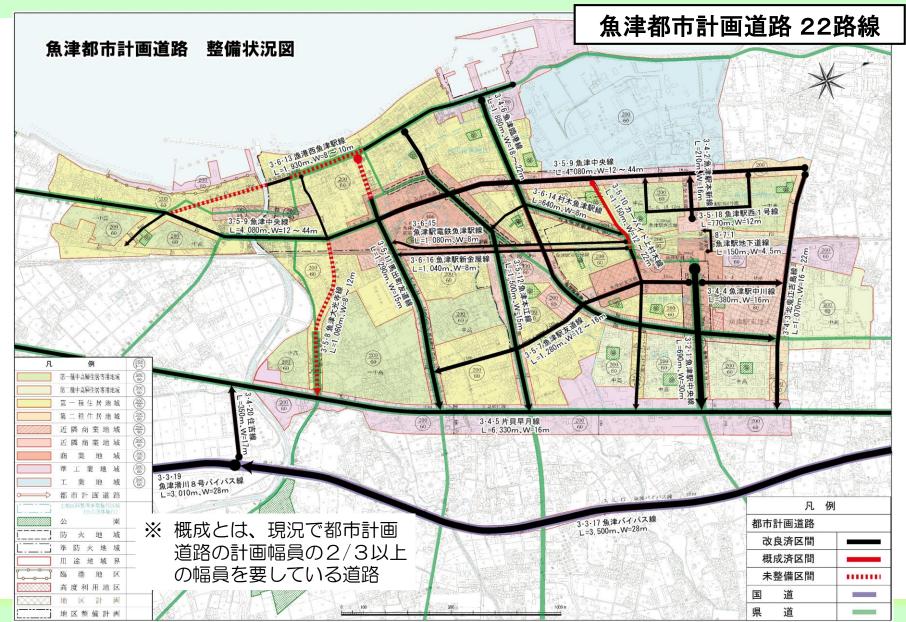
3. 見直しの進め方見直しの留意点

②住民との対話と計画への反映

●地域の方々の意見をうかがい、地域の目指すまちづくりの視点から都市計画道路網を考え地域の実情にあう計画に見直す



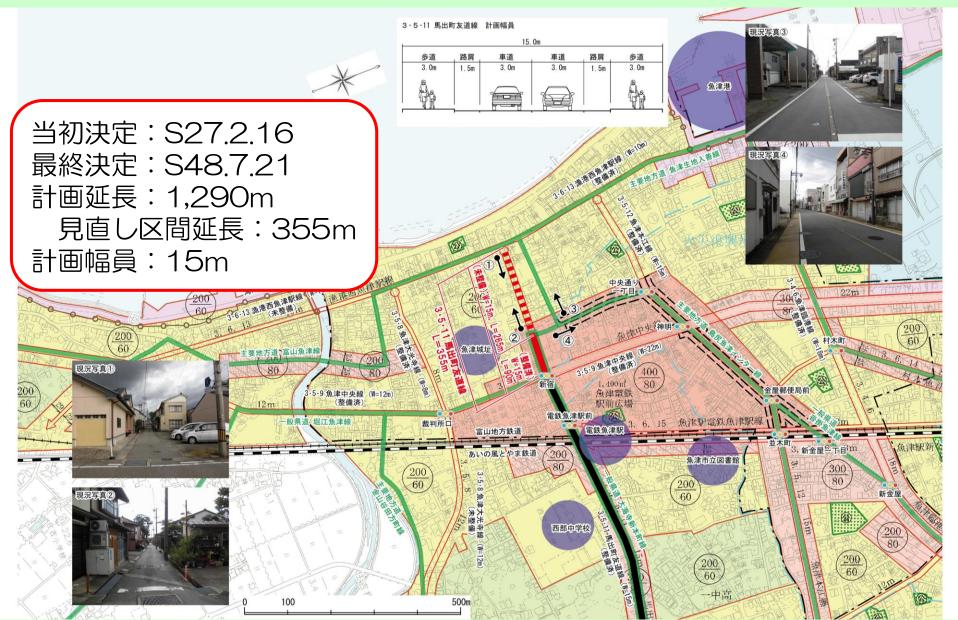
整備進捗状況



見直し(案)全体図



3.5.11号 馬出町友道線 現状



3・5・11号 馬出町友道線 見直し(案)



構造

幅員

地表式の区間

における鉄道等

との交差の構造

幹線街路と

平面交差5箇所

都市計画道路変更(案) 新旧対照表

起点

位

置

終点

区域

延長

車線の数

【変更前】

種

別

称

路線名

名

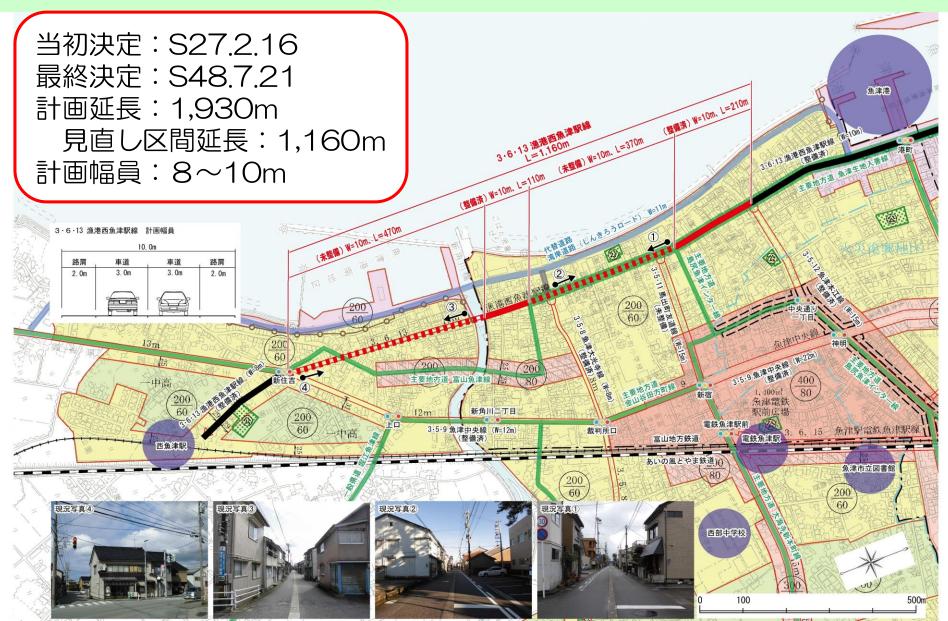
番号

幹線街路	3·5·11号	<u>馬出町</u> <u>友道線</u>	魚津市 <u>本町</u> 一丁目	魚津市 友道 畦高	魚津市 <u>新宿</u>	<u>約</u> 1,290m	<u>未</u> 決定	15m	あいの風とやま 鉄道、富山地方 鉄道本線と 立体交差2箇所 幹線街路と 平面交差6箇所
【図	【変更後】								
	名 称		位 置		区域	構造			
種 別	番号	路線名	起点	終点	主な 経由地	延長	車線の数	幅員	地表式の区間 における鉄道等 との交差の構造
幹線街路	3·5·11号	<u>魚津</u> <u>友道線</u>	魚津市 <u>新宿</u>	魚津市 友道 畦高	魚津市 <u>本江</u> <u>泰野</u>	<u>約</u> 940m	2車線	15m	あいの風とやま 鉄道、富山地方 鉄道本線と 立体交差2箇所 幹線街路と

主な

経由地

3.6.13号 漁港西魚津駅線 現状



3・6・13号 漁港西魚津駅線 見直し(案)



構

造

地表式の区間

における鉄道等

との交差の構造

平面交差2箇所

平面交差1箇所

幹線街路と

幹線街路と

都市計画道路変更(案) 新旧対照表

起点

魚津市

港町

魚津市

<u>住吉</u>

<u>尻井</u>

位

置

終点

魚津市

諏訪町

魚津市

<u>住吉</u>

西川原

【変更前】

名

称

種							市		
7.1	名	称		位 置		区域		構	造
【多	【変更後】								
幹線街路	<u>3·6·13号</u>	<u>漁港</u> 西魚津駅 線	魚津市 <u>港町</u>	魚津市 <u>住吉</u>	無津市 <u>諏訪町</u> 一丁旦 上丁旦 二丁目	約 <u>1,930m</u>	<u>未</u> 決定	10m (8~ 10m)	幹線街路と <u>平面交差5箇所</u>
種 別 	番号	路線名	起点	終点	主な 経由地	延長	車線の数	 幅 員	地表式の区間 における鉄道等 との交差の構造

主な

経由地

魚津市

港町

魚津市

<u>住吉</u>

<u>尻井</u>

区域

単線の数

<u>2車線</u>

2車線

延長

<u>約520m</u>

<u>約250m</u>

幅員

<u>10m</u>

<u>8m</u>

12	
種	
別	釆

種	
別	
<i>「</i> 」 	番·

幹線街路

3.6.13号

3.6.22号

I	
番号	路線名
	I

<u>魚津港</u>

諏訪町線

住吉

<u>西魚津駅</u>

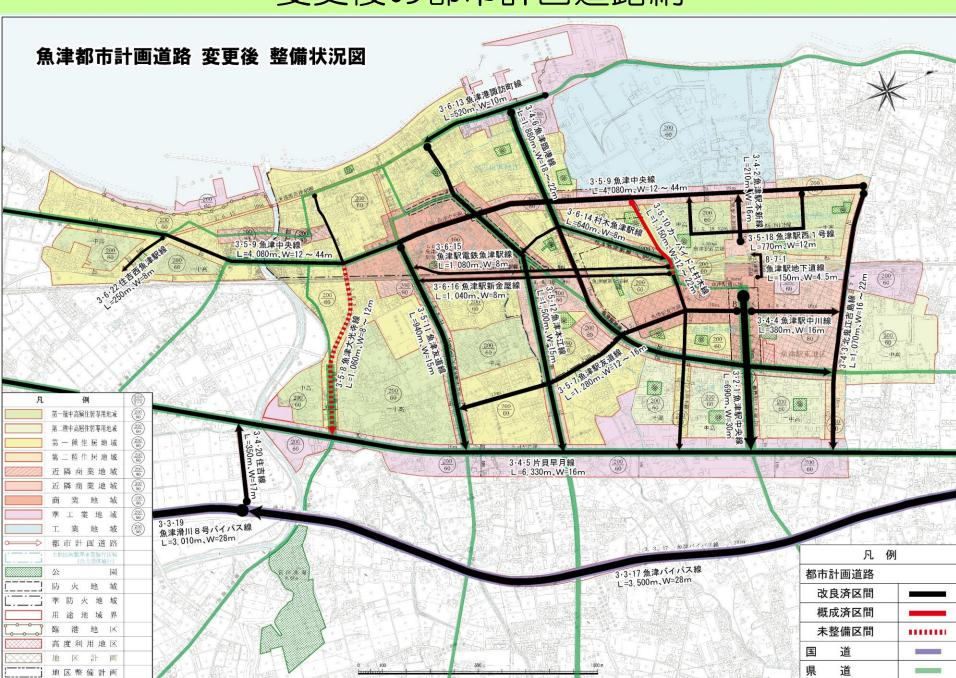
<u>線</u>

車線数の決定

車線数が未決定の路線(国道を除く)は、下表に示すとおり車線数を決定

	路線名	車線数
3.2.1	魚津駅中央線	4車線
3-4-2	魚津駅本新線	2車線
3-4-3	北鬼江吉島線	2車線
3.4.4	魚津駅中川線	2車線
3.4.5	片貝早月線	2車線
3.4.6	魚津臨港線	2車線
3.5.7	魚津駅友道線	2車線
3.5.8	魚津大光寺線	2車線
3.5.10	カーバイド上村木線	2車線
3.5.11	魚津友道線(変更後)	2車線
3.5.12	魚津本江線	2車線
3.6.13	魚津港諏訪町線(変更後)	2車線
3.6.14	村木魚津駅線	2車線
3.6.16	魚津駅新金屋線	1車線(1~2車線)
3.5.18	魚津駅西1号線	2車線
3.4.20	住吉線	2車線
3.6.22	住吉西魚津駅線(変更後)	2車線

変更後の都市計画道路網



5. 今後のスケジュール 都市計画に関する手続き

(※数字は手続きの順を表す)

8 6 都市計画の案の公告 都市計画の変更・告示 魚津市都市計画審議会 都市計画 審議会 富山 都市計画原案の作成 都市計画原案の説明 リックコメントの実施 (2週間) 県 知 事 協議 縦覧 意見書 提出

無津市産業建設部都市計画課 TEL 0765-23-1026 FAX 0765-23-1066